学校便り

令和８年１１月２日

ふれあい月間

第１３号

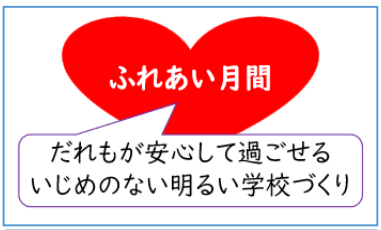
校長　生野　まゆみ

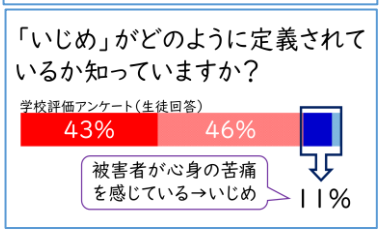
校長より

１１　月はふれあい月間です。今月は「いじめの未然防止」に特に力を入れた取組みを、全校、学年、学級で行います。学校評価アンケートで、「いじめがどのように定義されているか知っていますか？」という問いに対して肯定的な回答が、生徒 89%、保護者 66%、教員 100%でした。ここでもう一度掲載しますので、ご確認ください。

【いじめの定義】(いじめ防止対策推進法第２条より)「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

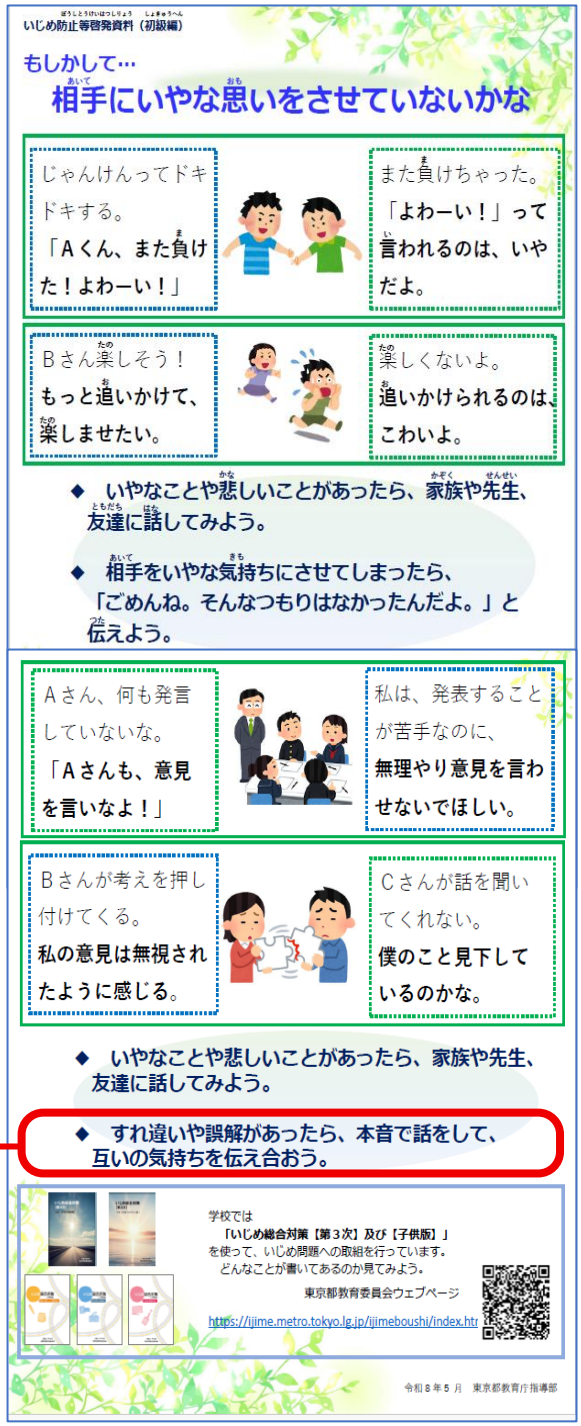
～全校朝礼・校長より～







今月はふれあい月間です。誰もが過ごしやすい学校にするためにはどう行動したらよいのか考えてみましょう。学校評価アンケートで「いじめの定義」について 89%がわかっていると回答しました。ここで、もう一度確認しておきましょう。相手がどう思っているかを知るのは難しいです。そこで、皆さんには、すれ違いや誤解をなくすために「自分の気持ちを伝える勇気」、そして「相手の思いを受け止め相手の思いを尊重する優しさ」をもってほしいと思います。



こころの健康観察・いじめアンケート

毎月実施しています。困りごとがあるという生徒には聞き取りをし、対応しています。なお、相談窓口はHP トピックスに掲載しています。

音楽祭

10 月 29 日(木)、グリーンホールで実施しました。保護者、ご来賓等多くの皆様にご参観いただきました。生徒はみな、音楽祭に向けて目標をもち、直面した課題を仲間と協働しながら解決し、当日を迎えました。この経験は、きっと変化の激しい社会をより良く生き抜く力を育てることにつながったと思います。当日はその成果を十分に発揮し、集団の連帯感を深めることができました。

▶ LIVE

ライブ配信

欠席生徒向けに、音楽祭の様子をライブ配信しました。これは「離れていてもクラスの仲間と同じ時間を共有し、一緒に音楽祭に参加してほしい」という願いのもと、誰一人取り残さない行事運営を目指して実施したものです。

生徒の声

(1 年生) 中学校で初めての音楽祭は、とにかくとても楽しかった。1 年生はどのクラスもきれいに歌えていたと思う。2 年生、3 年生の先輩方は、歌だけでなく入退場の姿勢まで迫力がすごかった。この経験は財産だから、来年に生かして、良いお手本になりたいです。

(2年生) 結果発表の時、その日で1番緊張した。金賞が発表され、自分のクラス曲が言われた時のことは脳に焼きついている。とてもとてもうれしかった。人生で初めてとった金賞だった。仲間と一緒に頑張ったことの大切さをこれからもいろんな人と味わっていきたい。

(3年生) 大好きなクラスへの愛着と前年度の悔しさから金賞を熱望し、涙を流すほど全力で音楽祭に向き合った。だからこそ結果が出なかったことが本当に悔しく申し訳ないが、そう思えるのは全力を尽くした証でもある。

(8組) 本番の時はとても緊張したけれど、発表の前に先生が「大丈夫。できるよ。」と言ってくれて、大きな声で歌いきることが出来た。8組みんなの声がひびいていた。

保護者の声(一部紹介)

・最初のクラスから感動して涙ぐんでしまいました。子どもたちが一生懸命に取り組んできたのが良く分かりました。
・学年が上がるごとに聴き応えも増し、この子たちがこれからも希望をもってすくすくと大きくなってほしいと願いながら聞いていました。
・生徒の演奏、職員合唱ともに行事に対する想いが感じられる熱演でとても素晴らしかったです。

スローガン 百歌繚乱















PTA 役員・ボランティアの皆様

役員の呼びかけに多くのボランティアの保護者方がご協力くださいました。おかげさまで、大変スムーズに会が進行いたしました。ありがとうございました。

